

## 全国女性交流集会 in 和歌山・・取組みを終わって

### 女性委員会報告

全国女性交流集会 in 和歌山は、10月26～27日に紀三井寺前の旅館で開催された。17府県連盟から112名の参加者が三々五々集まり熱く楽しい集会が行われた。

この集会は、1995年に始まった西日本交流登山から2003年に名前を変え隔年実施してきた西日本女性担当者交流集会が、1998年スタートで毎年行われてきた東日本集会と合流した記念すべき第1回目の集まりであった。

まず「登山で輝く女性たち-登山がもたらす生理効果」と云う魅力的なテーマで、豊田ふみよ氏による講演があり、「山に登る女性は美しい」と隠れたテーマに??が並ぶが、「有酸素運動・リラックス効果・脳の活性化・筋肉の損傷が若返りの秘訣」などの話を聞く中で、そうなのだったのだ!との共感の思いが漂う話しであった。

地方連盟からの報告の中で、兵庫県連盟から山本美雪さんの8000m峰3座登頂!は、ある意味衝撃でもあった。登山に於けるハットトリックの実現を、行きたいという思いの実現にむけ、準備・トレーニング・諸々のチャレンジが具体的に語られ、また決して若くない50才でのチャレンジでもあり、多くの人たちにとって希望の星となったのではないだろうかと思えた。

近畿ブロックからは、搬出技術講習会における応急手当の取組みが和歌山女性委員によるパフォーマンスで行われ、近畿ブロックのメンバーが搬出での出番もあり楽しい応急処置の実技を見せることが出来た。

分科会では、A分科会：登山に於ける女性の課題・・女性委員会が設立して浅い連盟の模索の様子と、設立の古い連盟での活動がバリエーションも多く様々な展開をしている様子が語られ、B分科会：新しい登山形態とは・・各府県連、それぞれ取組み方は違うがセミナーの開催とその様子や今後の課題、また若い参加者からは「多様性のある世代との繋がりを持とう」と県連からの援助と共に立ち上げたグループの活動や、府の青年部で年間計画を立てて活動し交流を図るなど、府県連盟の援助で若い人たちの活動報告が新鮮であった。C分科会：事故を起こさないために・・比較的リーダー層の参加が多く、自身の身体に留意して活動された発言がよかった。万が一の事故に対応できる身体づくりや身体を鍛えている人、鍛えきっていない人皆が何らかの発言が出来たことが良かったし楽しかった。

2019.11.17・・・文責川上